

平成25年度施策評価シート(平成24年度実施事業)

作成主管課	スポーツ振興課
	関係課
施策名	スポーツ・レクリエーション
施策コード	5-2-2

総合計画後期基本計画の内容

政策体系	政策 第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕 小政策 2 だれもが自ら学び、能力を発揮できる環境をつくります
現況と課題	平成23年に施行されたスポーツ基本法の前文にあるとおり、スポーツは世界共通の人類の文化であり、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠のものとなっています。また、高齢化が急激に進展する中、疾病構造が変化し、生活習慣病が増加していることなどから、健康づくりの取り組みや人々の健康志向は高まっており、体力、精神の両面においても運動の重要性は増えています。 本市では、合気道やゴルフといった地域資源を生かした各種のスポーツ活動や、ニュースポーツの普及を展開するとともに、学校体育施設の開放など、活動の場の提供を進めてきました。また、体育協会と連携してスポーツ少年団や各種の市民活動団体の支援に努め、競技スポーツと生涯スポーツの両面での活動支援を実施し、身近で多彩なスポーツ・レクリエーションの推進に努めてきました。 今後は、生涯スポーツと競技スポーツの双方を通して、子どもたちの人間形成といった教育的な側面はもとより、精神的・身体的に市民全員が健康で質の高い生活を送るスポーツ・レクリエーション環境を構築していく必要があります。
施策目標	「いつでも、どこでも、だれとでも、いつまでもスポーツを」を基本理念として、関係機関と連携を図りながら、市民が豊かなスポーツライフを送る環境を構築するとともに、特に成人のスポーツ実施率の向上を図ります。

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合	市民実感度	30.920	30.320				
	加重平均値	1.946	1.944				
当施策を重要と感じている市民の割合	市民実感度						
	加重平均値						
	重要度		75.310				
	加重平均値		3.104				

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
スポーツ少年団指導者資格保有率	目標値	%		52.00	54.00	56.00	58.00	60.00
	実績値	%	48.90	50.60				
	達成度	%		97.31				
	ベンチマーク							
スポーツ教室 教室数	目標値	教室		8	8	8	8	8
	実績値	教室	7	8				
	達成度	%		100.00				
	ベンチマーク							
スポーツ教室 参加者数	目標値	人		930	930	930	930	930
	実績値	人	747	893				
	達成度	%		96.02				
	ベンチマーク							
数値指標の考え方	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

指標設定の考え方	・有資格者から団員が適正な指導を受け、スポーツの楽しさを味わい習慣化することで、子どもたちが大人になってからもスポーツ活動を継続していくことが考えられることから指標とした。 ・スポーツを始めるきっかけづくりとなるスポーツ教室の数と参加者が増えればスポーツの実施率も向上すると考えられることから指標とした。
目標値設定の考え方	・スポーツ少年団指導者資格保有率は、毎年4～5名(2%)の有資格者増を目標とした。 ・スポーツ教室は、これまで実施されていたものを継続するとともに、新たな教室を加え、参加者も微増する目標とした。

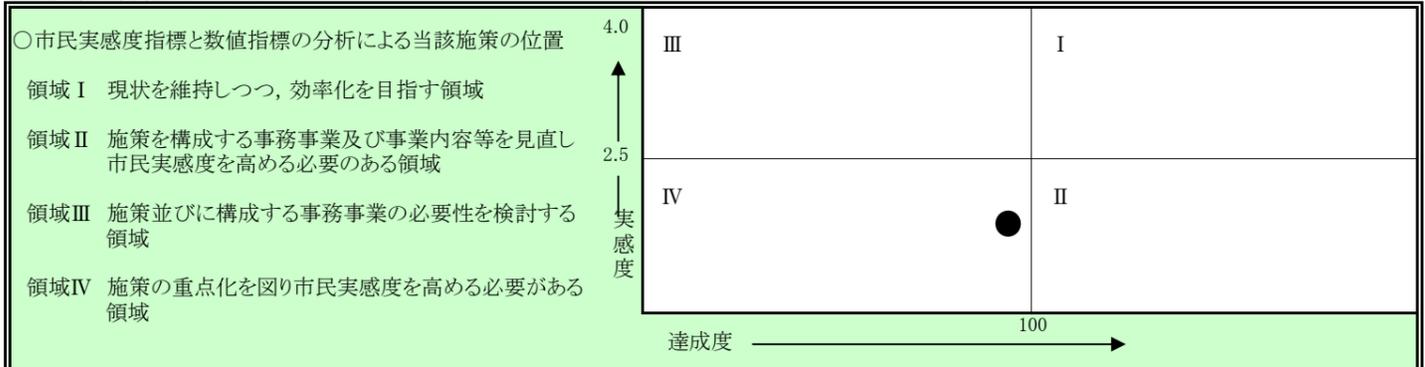
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 ・市民一人ひとりが健康への意識を持ち、自主的にスポーツに取り込むこと。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 ・市民の自主的なスポーツへの取組みを支援する。 ・体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進協議会の活動を支援する。

3 平成24年度の実績

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 ・行政が直接行う事業、行政が支援し団体(体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会)が行う事業を通して、市民がスポーツに親しむ機会を提供した。 ・新たなスポーツ教室として小学生ペアによるスナッグゴルフに取り組んだ。
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	・数値指標については、スポーツ教室の教室数は目標値を達成したが、その他の指標は達成していない。平成25年2月にスポーツ少年団認定員養成講習会を笠間会場で実施しており、平成25年度において資格保有率の増加が見込める。平成25年度以降についても、近隣で行われる講習会に積極的に参加し、目標値達成を目指す。また、スポーツ教室の参加者数については、指定管理者が実施している5教室630人を含めているので、さらに連携をとりながら参加者の増加を目指したい。
-------	--

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	・子どもから大人そして高齢者まですべての年代を対象とした事務事業で構成されており妥当だと考えられる。
------------	--

平成25年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	・少子化によるスポーツ少年団の団員不足、高齢化による指導者不足により、単位団の運営が難しくなっている。
--------	---

5 今後の方向性

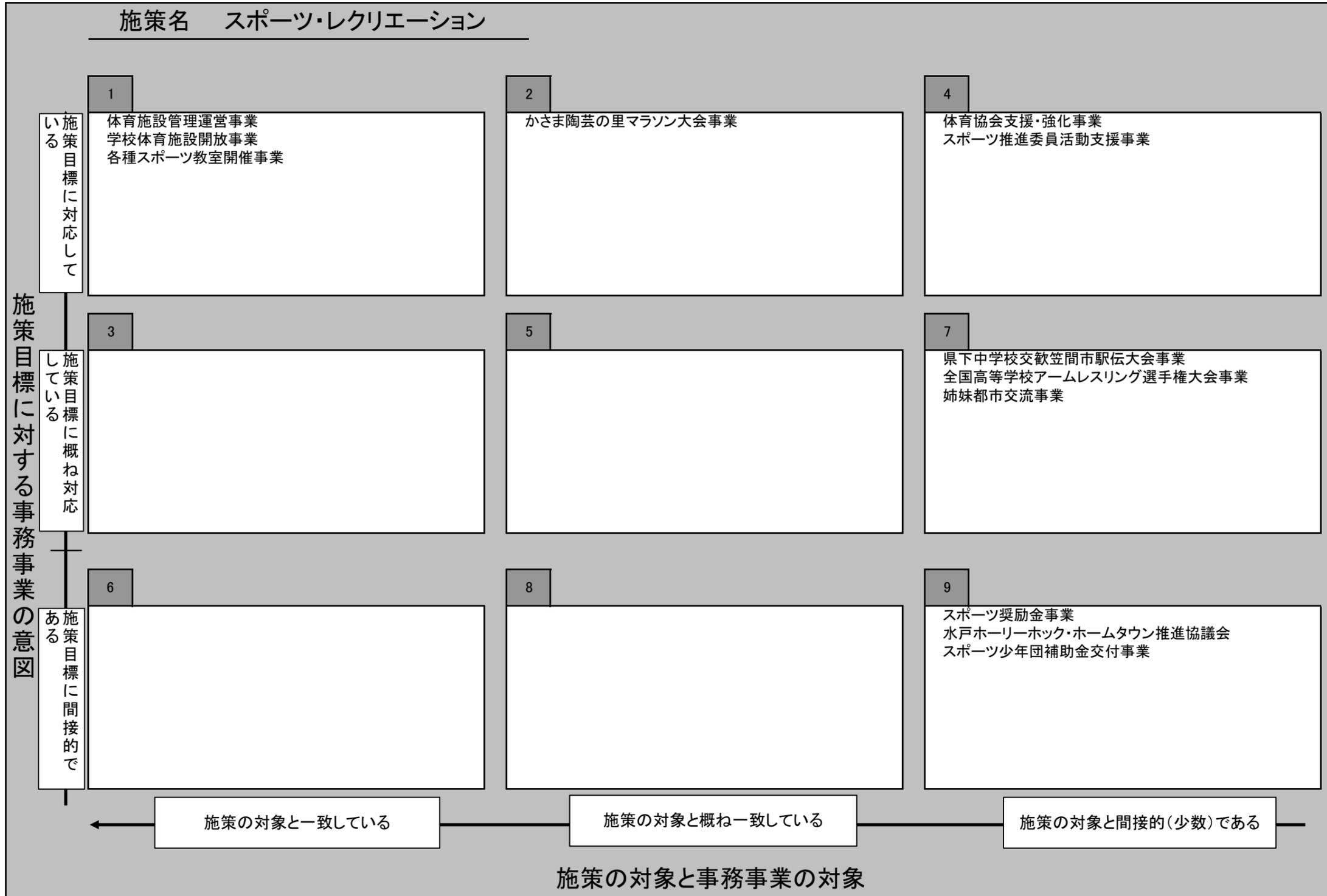
取組方針	平成26年度に向けた施策方針 ・市民がスポーツを始めるきっかけとなる事業や、指導者・場所・仲間(サークル)の紹介などといった各種スポーツ情報提供を充実させ、市民が自立的・主体的にスポーツができるような施策を展開する。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果				補助区分	事業費(千円)			貢献度評価		
			成果指標	単位	平成22年度	平成23年度		平成24年度	平成22年度	平成23年度		平成24年度	
1	かさま陶芸の里マラソン大会事業	小学生・親子・中学生・一般の4部門で23種目に約4,000名が参加。参加料あり。関係団体と連携し大会を運営。笠間市を全国にPRするとともに参加者の健康増進、体力の強化を図る。	政策的事業	市民参加者数 市外参加者数	人	1,643 2,554	1,788 2,148	1,825 2,344	市単独	4,550	3,800	3,800	3
2	全国高等学校アームレスリング選手権大会事業	高校生の健全育成と地域活性化を目的に開催し、「アームレスリングのまちかさま」として全国に名を馳せてゆく。また、大会を笠間市の情報発信の場としていく。	政策的事業	参加高校数 参加者数	校 人	39 94	37 95	56 148	その他 補助	5,000	4,000	4,000	11
3	県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業	東京オリンピックの開催を記念して始まった中学生対象の駅伝大会。H24は第50回の開催を迎える歴史。中学生の健全育成と競技力向上を図ることを目的に開催している。	政策的事業	参加校数 参加チーム数	校 チーム	33 81	39 103	38 95	市単独	1,144	1,248	1,121	11
4	体育協会支援・強化事業	笠間市体育協会加盟団体が開催する各種スポーツ大会や各種スポーツ教室を側面から支援し、スポーツの振興を図る。加盟団体数 30団体	政策的事業	登録人数	人	4,054	3,778	3,817	市単独	3,250	3,152	3,152	6
5	スポーツ推進委員活動支援事業	スポーツ推進委員は、市民の身近な立場からスポーツ振興施策の推進を図る役割があり、各種研修会を通して指導者としての資質向上を図る。スポーツ推進委員数 30名	政策的事業	活動延日数	日	282	304	348	市単独	1,089	1,089	1,350	8
6	学校体育施設開放事業	市民が身近にスポーツを実践することができる場、また、活発な交流が行われるコミュニケーションの場として学校体育施設を市民に開放する。体育館 21施設 グラウンド 21施設	政策的事業	利用団体数	団体	183	176	166	市単独	144	144	144	1
7	姉妹都市交流事業	栃木県矢板市で行われる矢板高原マラソン大会に笠間市民を派遣。かさま陶芸の里マラソン大会に矢板市民を受け入れ、相互に大会に参加してもらい交流を図っている。	政策的事業	参加者数	人	38	38	40	市単独	54	33	49	12
8	水戸ホーリーホック・ホームタウン推進協議会	茨城県、周辺市町村並びに産業経済団体等と連携を図りながら、水戸ホーリーホックを組織的、広域的に支援し、次代を担う子どもたちの夢を育て、地域に根ざしたスポーツ文化を創造する。	政策的事業	笠間市民の日参加者数	人	—	309	464	市単独	—	—	500	12
9	スポーツ奨励金事業	市独自の奨励金制度により、笠間市を代表して全国大会等に出場した場合に奨励金を交付することにより、スポーツの振興を図る。	政策的事業	奨励金交付者	人・団体	45	39	65	市単独	1,010	1,090	1,200	12
10	スポーツ少年団補助金交付事業	スポーツによる青少年の心身の健全育成を目的に活動しているスポーツ少年団に補助金支援を行い、組織の強化、活動の活性化を図る。スポーツ少年団数 39団	政策的事業	補助団体数	団体	38	39	40	市単独	2,106	2,028	2,028	9
11	体育施設管理運営事業	指定管理者制度を導入。直営施設についても維持管理を行う。施設管理 体育館2 グラウンド10 テニスコート3 武道館2 弓道場1 プール1	維持管理事業	体育施設数	箇所	17	19	19	市単独	95,341	116,047	91,102	1
12	各種スポーツ教室開催事業	ウォークラリー大会・ちびっこスケート教室を開催したほか、B&G水泳大会、スナッグゴルフ大会の開催に際し、支援を行った。	政策的事業	参加者数	人	87	166	263	市単独	104	123	197	4
13													
14													
15													
16													
17													
18													
事業費合計										113,792	132,754	108,643	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 スポーツ・レクリエーション



法定受託事務(義務的事業に分類)

